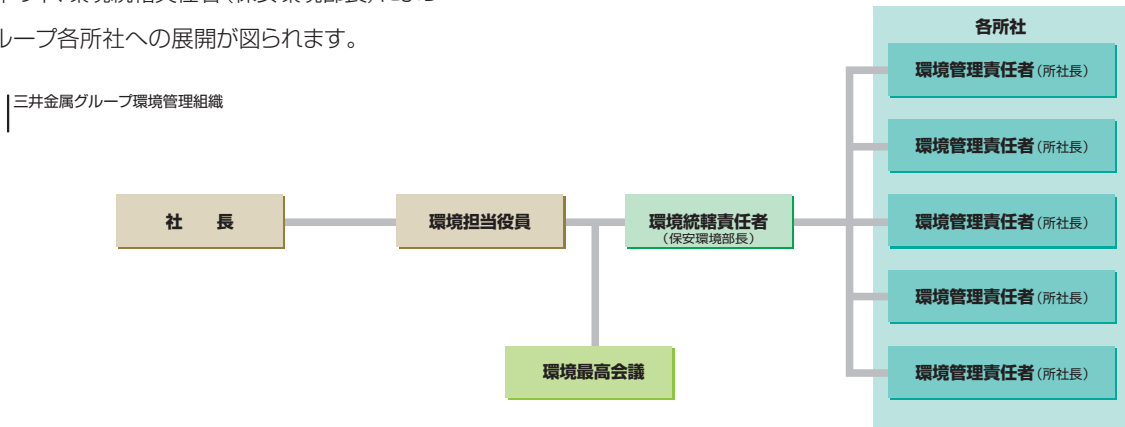


## 環境管理体制

### 組織

当社の環境保全に関する最重要事項を審議する場として、環境担当役員を議長とし、各事業ラインの長をメンバーとする「環境最高会議」が設けられています。

本会議において審議・決定された方針や行動計画は、環境担当役員の指揮の下、環境統轄責任者(保安環境部長)によって三井金属グループ各所社への展開が図られます。

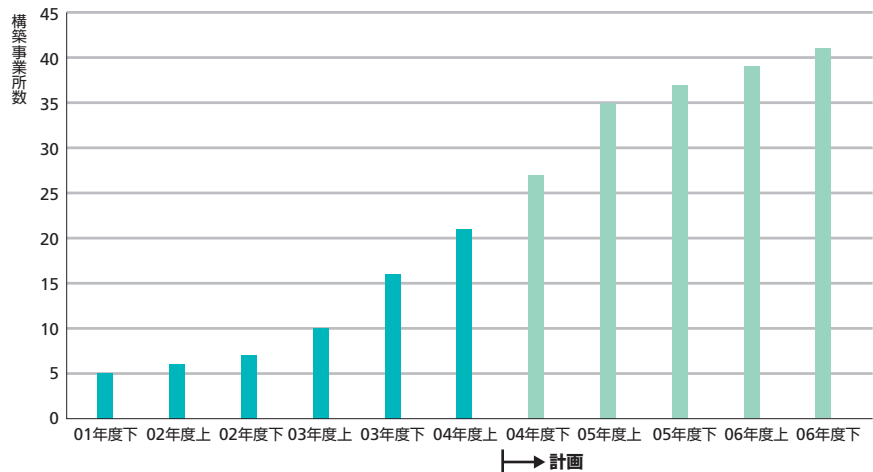


### 環境マネジメントシステム

当社では、ISO14001環境マネジメントシステムを、環境負荷を継続的に低減するための仕組みとして、環境行動計画において2006年度末までに三井金属グループの全所社で構築することを目指しております。

これまでに昨年4月にグループ入りした大井製作所を含め21所社が構築または認証取得をしており、現在17所社が構築に向けて取組みを行っております。

ISO14001構築スケジュール



2004年9月末現在で

蕪崎事業所、吉野川電線(株)、神岡部品工業(株)、(株)MCS、神岡鉱業(株)鉛リサイクル工場、三井串木野鉱山(株)、パウダーテック(株)、日本亜鉛鉱業(株)、圧延加工事業部、日比・玉野製錬所、バーライト事業部、薄膜材料事業部、三井金属九州機工(株)、触媒事業部、三井金属商事(株)、愛知計装(株)、(株)大井製作所本牧・九州・石川工場、三興金属工業(株)、計測システム事業部の21所社が構築済